

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	敬老事業	会計名称	一般会計		担当課	長寿介護課	
		予算科目	3 款 1 項 9 目	事業番号	1270	所属長名	野間美幸
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	丸本竜士	
法令根拠等	伊予市敬老会実施事業費補助金交付要綱、伊予市敬老祝金贈呈要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	高齢者福祉の根底にある「敬老」について、意識の醸成のための活動を行うことにより、豊かで生きがいのある老後の生活及び地域における支え合いの体制づくりを推進する。						
事業の対象	伊予市在住の75歳以上の高齢者			事業の目的	地域社会の進展に寄与された高齢者に敬意を表し、高齢者を地域で支えるという住民意識の啓発により高齢者福祉の増進及び地域コミュニティの強化を図る。		
事業の内容 (整備内容)	敬老週間(9/15~9/21)を中心に広報区等の団体が開催する敬老会に代わる取組みに要する経費に対し、満75歳以上の住民1人当たり1,000円の補助金を交付する。 88歳(米寿)の方に対し、記念品を贈呈する。 100歳の方に対し、市長が訪問し表彰及び30,000円の祝金を贈呈する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	自粛要請する中での敬老事業の実施を踏まえ、地域に対するアンケートを実施し、地域コミュニティの維持と感染対策の両立に努めた。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	1,249	15,264	△ 7,000	0	0	7,363	祝賀対象者(満75歳以上総数)	人	6461	6777	6632	6632
財源内訳						0						
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	敬老会開催会場	箇所	-	-	-	-
一般財源	1,249	15,264	△ 7,000	0	0	7,363						
職員の人工(にんく)数	0.45	0.45				0.45	上記祝賀対象者(敬老会開催地域対象者数)	人	-	-	-	-
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	4,764	18,792				10,891						
主な実施主体	委託		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		補助金	敬老会出席者	人	-	-	-	-	-
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000		
成果指標	指標	敬老会開催地区の満75歳以上の祝賀対象者の出席率			単位	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度	
					%	目標	50	50	50	50		
	指標設定の考え方	敬老会未実施地区を除く祝賀対象者のうち敬老会に出席した者の割合			⇒	実績	-	-	50	50		
指標で表せない効果	市民一人ひとりが高齢者を支えるという、社会福祉の基本となる住民意識を維持・向上させる。											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		補助金交付要綱を、自粛要請下でも一定の条件のもと事業を実施できるよう見直したことから、多くの団体で利用が進み、高齢者福祉行政を推進する事ができた。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B	事業成果・工夫した点	補助金交付要綱を見直し、事業をより適切に進める事ができた。また、広報区長向けにアンケートを実施し、今後の在り方について知見を得る事ができた。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が					
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 昨年度に引き続き今年度においても新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の方法による敬老会の開催自粛を要請する結果となったが、継続してきた敬老意識の醸成のため、継続が必要である。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が						
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
所属長の課題認識	今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、敬老会開催自粛を要請することとなったが、長期化する感染状況の中で、昨年度、改正した補助金交付要綱に基づき、敬老会の代替事業を行った団体に対し補助を行った。状況に応じた慎重な判断を行いながら、今まで継続してきた敬老意識の醸成が維持できるよう工夫していく必要がある。										

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 長期化するコロナ禍に鑑み改正した要綱に基づき本年度から事業を実施したことから、敬老意識と地域コミュニティの醸成という目的を踏まえた検証を行い、令和4年度に向けた判断材料とする必要がある。なお、敬老会の開催手法等について、高齢者の増加に伴う対象や区域、補助方法等について、長期展望に立ち、引き続き検討する必要がある。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	